

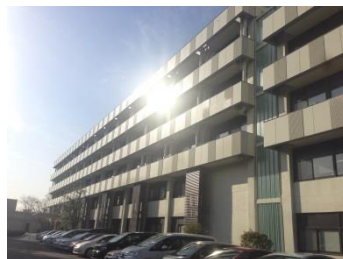
Kyoto Course on Bioinformatics 2014 終了報告

医学科5年 柴田哲秀

NGS(Next generation sequencing)が開発に伴い、遺伝子解析に大きな変化がもたらされ数年が経過しました。私は、現在多くの研究者の信頼を集める標準的なツールや、解析の流れに関する理解を深めるため、Kyoto Course on Bioinformatics 2014 に参加させて頂きました。

日程	3/12 8:00 – 8:30	感想	
3/10	Discussions with instructors	今回の公演は全て英語で大変苦勞しましたが、日程が進むごとに慣れ、最終的には資料なしでもだいぶ理解することができました。通常の学会とは異なり、最近の遺伝研究においてメジャーに使われているツールの紹介、具体的な使い方の案内が多くなされ、大変実用的な実りある会だったように思います。今回私の学会参加に協力して下さった学生研究会の方々、神経遺伝情報学の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。	
9:00 – 9:30	Opening remarks & course overviews		
9:30 – 10:45	Lecture 1		
10:45 – 11:15	Break		
11:15 – 12:00	Lecture 2		
12:00 – 13:00	Lunch		
13:00 – 13:30	Practical: Basic Linux (optional)		
13:30–14:30	Lecture 4		
14:30 – 15:00	Break		
15:00 – 17:30	Lecture 5		
3/11	3/13.14		
8:15 – 9:00	Discussions with instructors Staff		Many presentations about NGS
9:00 – 10:00	Lecture 6		
10:00 – 11:00	Lecture 7		
11:00 – 11:15	Break		
11:15 – 13:00	Lecture 8		
13:00 – 14:00	Lunch		
14:00 – 15:00	Lecture 9		
15:00–16:00	Lecture 10		
16:00 – 16:30	Break		
16:30–18:00	Lecture 11		

写真：3/10-12 の会場



写真：3/13-14 の会場

